



フェーズフリーを知っていますか？ ～日常で使っているものは災害時にも役立つ～



- 2 身近なもので災害に対応する！
- 3 子ども・若者関連情報、児童館日より
- 4 多摩市いきものギャラリー

- 5 令和7年度は住民税7.3億円が市外へ流出！
- 6・7 講座・催し物
- 8 市政その他のお知らせ、市民参画

- 9 健康日より
- 10 第26回永山フェスティバル2025

市長コラム

多摩の風 第136回

いつ始まり終わったのか
戦後80年の夏も蟬の声と共に過ぎました。ただ、あの戦争は、いつ始まり終わったのか。改めてザワザワする夏でした。

戦争が始まったのは1941年12月8日の真珠湾攻撃から？いや1937年7月7日の盧溝橋事件から？それとも1931年9月18日の満州事変から？戦争が終わったのは、ポツダム宣言を受諾し、玉音放送を聞いた8月15日？日本政府が降伏文書に調印した9月2日？日本が連合国軍の占領下から独立した1952年4月28日？

確かに教科書的には開戦は真珠湾攻撃、終戦は8月15日です。ただ、ご家庭によっては、戦地から肉親が帰って来た日、遺骨を収集した日などそれぞれ異なるのかもしれない。

精神科医で劇作家の胡桃澤伸さんは、先月開催された「多摩市平和展」で「戦後というが、私にとって戦争はまだ終わっていない」と祖父が村長として満蒙開拓団を送り出し、敗戦と敗走の中、その村民たちが満州で集団死した責任をとり、終戦の翌年に自死したとの話をされました。その事実も自身が37歳の時に知ったそうです。

ソ連の対日参戦によって満州では多くの悲劇が生まれました。しかし、もともと満州国は誰が作ったのでしょうか。国策として進められた満蒙開拓の責任は一体誰にあるのでしょうか。

もし当時、私が村長だったら中国の人々が住む土地を接收し、「王道楽土」と呼ぶ国策にどこまで抵抗できたのか。背筋が凍る思いです。

(多摩市長 阿部裕行)